



SDGsセミナー①

SDGsの概要・歴史



SDGsとは「Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)」の略称です。

発音は、SDGs (エス・ディー・ジーズ) です。







正式マークロゴ



使用範囲 協会活動、アドバイザー養成講座、イベント等

英語表記ロゴ



使用範囲 SDGs の活動時





目標1	貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
目標2	飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標3	すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標4	質の高い教育をみんなに あらゆるすべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
目標5	ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
目標6	安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
目標8	働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する
目標9	産業と技術革新の基盤を作ろう 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

目標10	人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する
目標11	住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
目標12	つくる責任つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
目標13	気象変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
目標14	海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
目標15	陸の豊かさも守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
目標16	平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
目標17	パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



目標1 【貧困】

目標2 【飢餓】

目標3 【保健】

目標4 【教育】

目標5 【ジェンダー】

目標6 【水・衛生】

目標7 【エネルギー】

目標8 【経済成長と雇用】

目標9 【インフラ、産業化、イノベーション】

目標10 【不平等】

目標11 【持続可能な都市】

目標12 【持続可能な消費と生産】

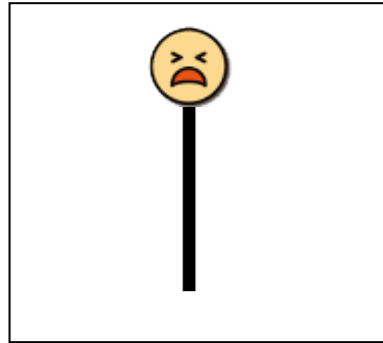
目標13 【気候変動】

目標14 【海洋資源】

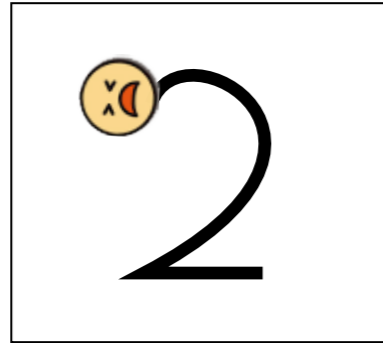
目標15 【陸上資源】

目標16 【平和】

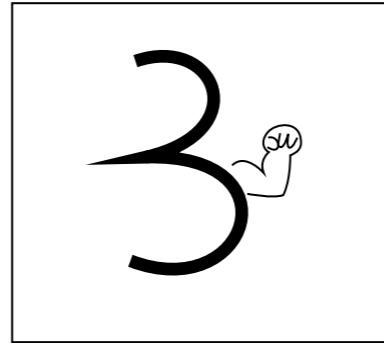
目標17 【実施手段】



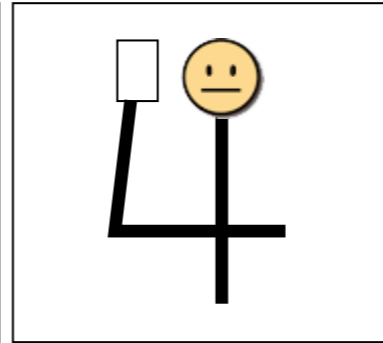
やせているので貧困
貧困をなくそう



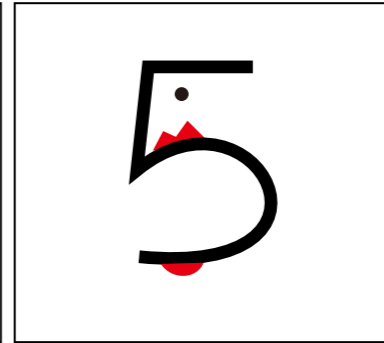
飢餓でお腹が膨らむ
飢餓をゼロに



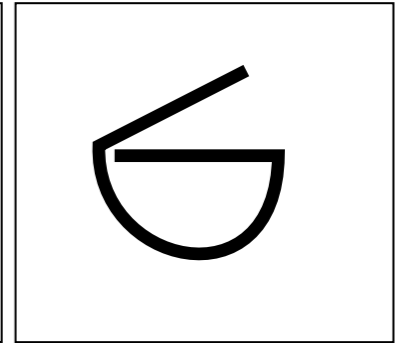
力こぶ
全ての人に
健康と福祉を



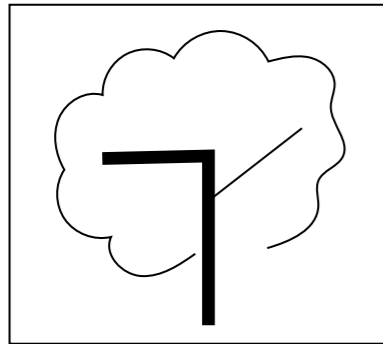
本を読んでいる
質の高い教育を
みんなに



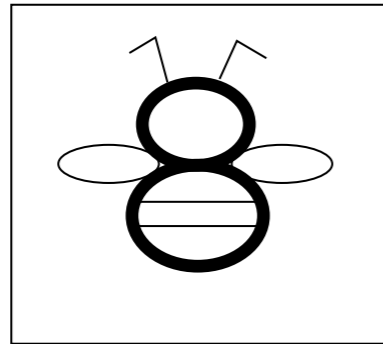
口紅がついている
ジェンダー
平等を実現しよう



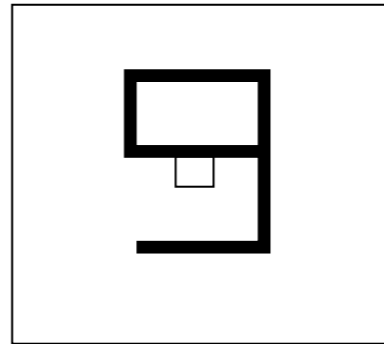
トイレのふた
安全な水とトイレを
世界中に



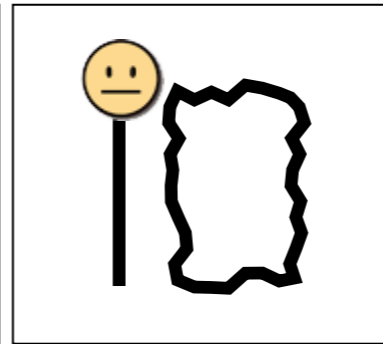
木の枝
エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



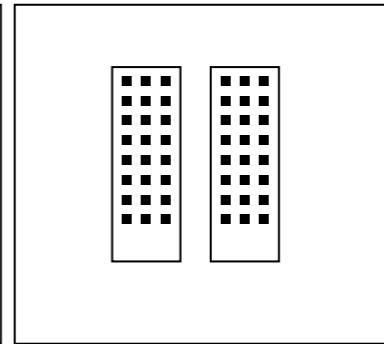
働き蜂
働きがいも
経済成長も



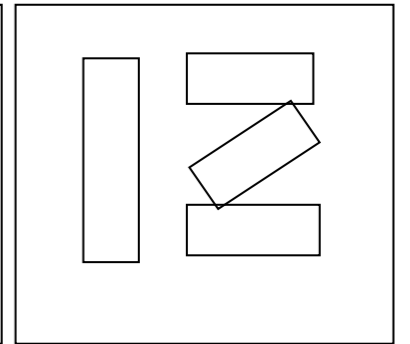
旋盤
産業と技術革新の
基盤をつくろう



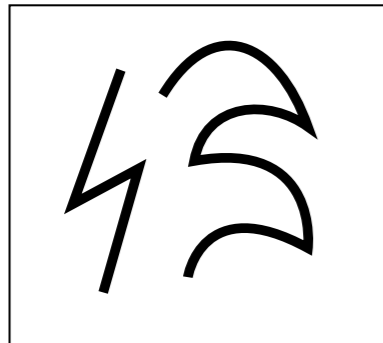
人と国
人や国の不平等を
なくそう



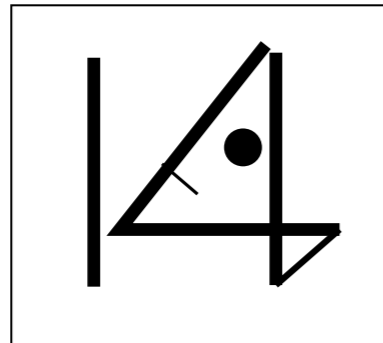
ビルが立っている
住み続けられる
まちづくりを



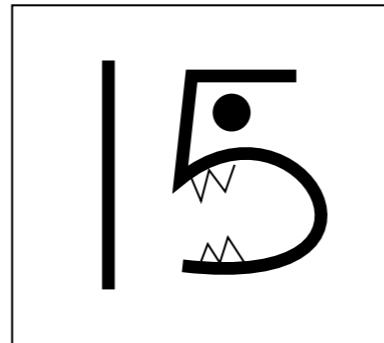
作ったものを分解
つくる責任
つかう責任



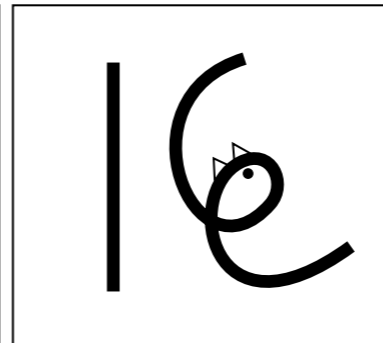
雷と波
気候変動に
具体的な対策を



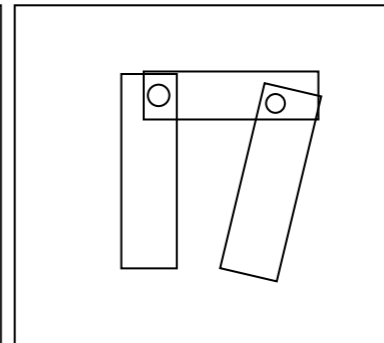
魚
海の豊かさを守ろう



動物
陸の豊かさも守ろう



はと
平和と公正を
すべての人に



ジョイント
パートナーシップで
目標を達成しよう



持続可能な開発目標（SDGs）、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

これら17の目標は、ミレニアム開発目標（MDGs）の成功を土台としつつ、気候変動や経済的不平等、イノベーション、持続可能な消費、平和と正義などの新たな分野を優先課題として盛り込んでいます。ある目標を達成するためには、むしろ別の目標と広く関連づけられる問題にも取り組まねばならないことが多いという点で、目標はすべて相互接続的といえます。



琵琶湖とSDGs

14 海の豊かさを
守ろう

琵琶湖は、京都や大阪の水源地として生活を支えている

6 安全な水とトイレ
を世界中に

琵琶湖を守るためにも、汚染物の流入を阻止し安全で飲料水となるための高度な水質の維持が必須

15 陸の豊かさも
守ろう

湖と陸地は密接な関係がある。湖西・湖北の山脈の雪解け水が琵琶湖に流れ込み、質の高い水質を保っている。また、陸の汚泥が湖に流れ込むこともある。

13 気候変動に
具体的な対策を

気候変動により土石流の流入や生態系にも大きな影響を与える

11 住み続けられる
まちづくりを

豊かな質の高い生活用水が街のインフラとして生活を支えている。

3 すべての人に
健康と福祉を

質の高い水質が健康維持に繋がり、病気予防等福祉に直結する

7 エネルギーを
安全かつ持続
可能に

クリーンなエネルギーは大気を汚染することなく、やがて大地へ恵の雨となる

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

あらゆる産業で水が不可欠。産業の発展に直結している。

8 働きがいも
経済成長も

住み続けられる街があるところ産業が発展し経済成長に繋がり、そこに働きがい生まれる。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

琵琶湖の豊かさを守るためには、いろいろなステークホルダーのパートナーシップが重要。

12 つくるときも
つかうときも
責任

いろいろなものをつくる時、使う時大気汚染等環境破壊につながらないことを意識し、後の処理も考慮する

4 質の高い教育を
みんなに

琵琶湖の環境を守るためには、そのための教育が必要。琵琶湖に興味を持ち、琵琶湖の豊かさを伝える。



1972年 ローマクラブ報告書「成長の限界」を公表。

○「このまま人口増加や環境汚染が続けば、（中略）あと100年で地球の成長は限界に達する」と世界に警鐘を鳴らした

1972年 国際会議として国連人間環境会議がスウェーデンのストックホルムで開催。「かけがえのない地球（Only One Earth）」のスローガンの下、世界114の国と地域が参加、環境問題に国際的に取り組むことの必要性を謳った「人間環境宣言」を採択。同年、国連は「国連環境計画（UNEP）」を創設し、国際協調による取り組みがスタート。



1980年「世界自然資源保全戦略（World Conservation Strategy）」が発表され、「持続可能性」という概念が初めて公式に登場した。

1984年「環境と開発に関する世界委員会（WCED）」を設置。

1987年「環境と開発に関する世界委員会（WCED）」は、報告書「我ら共有の未来（Our Common Future）」を発表。これはとりまとめを行ったノルウェーの首相の名前から「ブルントラント・レポート」とも呼ばれている。そしてこの報告書の中でSDGsのルーツといえる「持続可能な開発（Sustainable Development）」の概念が打ち出された。

「我ら共有の未来」の中で、「持続可能な開発」は「将来世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすこと」と定義。この2つのニーズの意味は、資源や環境などの「世代間の公平」に加え、南北問題や格差、公正など「世代内の公平」の実現が不可欠であることを説く。

1989年 ベルリンの壁が崩壊。同年の東西冷戦の終結、ソビエト連邦崩壊（1991年）と急展開を見せながら、**世界の長期的な安定と平和には、地球環境問題の解決が不可欠との認識が世界の指導者層に広がりました。**

1992年 持続可能な開発における歴史的転換を生んだブラジル・リオデジャネイロで国連環境開発会議、通称「地球サミット（リオサミット）」が開催される。この会議がSDGsの「S」に相当するサステナビリティ（Sustainability、持続可能性）の概念が世界的に普及し始めるきっかけに。

1997年 第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3）にて京都議定書が採択され、**地球温暖化対策の世界的な協調取り組み**が実現し、環境問題は21世紀を目前に急速に対策が進んだ。

一方、開発分野では市場経済メカニズムを組み込んだ途上国支援が一部の地域で成果を収めていたものの、依然として人口増大が進む中で抜本的な問題解決には至っていない。

2000年 国連は1990年代に開催された主要な国際会議・サミットで採択された**国際開発目標を統合したミレニアム開発目標、通称「MDGs（Millennium Development Goals）」**をまとめる。

MDGsは、2015年を年限として開発途上国の貧困・教育・健康・環境などを改善するための8つのゴールと21のターゲットを掲げる。



SDGs（エス・ディー・ジーズ）は、2015年9月、国連サミットで採択された成果文章「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ（通称：2030アジェンダ）」の柱として、世界共通の17のゴール（目標）、目標ごとの169のターゲットから構成されています。国連に加盟している193の国・地域が2030年を期限に達成を目指すものです。



2015年9月 MDGsの後継として2030年までに達成すべき 持続可能な開発目標、SDGsが誕生。

SDGsの理念は「誰ひとり取り残さない (No one will be left behind)」。この理念が示すように、SDGsは世界すべての人に共通する「普遍性」が特徴。貧困の解決・飢餓の解決・教育などの社会目標、気候変動・エネルギー・生物多様性など環境目標、雇用・インフラ・生産と消費など経済目標に加え、不平等の解決・ジェンダーの平等・平和などが17の目標として体系的に整理。SDGsの革新性は、17の目標それぞれにカラフルなメッセージアイコンを作成し、誰もが使えるツールとして公開したことにあります。



<p>ミレニアム開発計画 MDGs Millennium Development Goals 2000年–2015年</p>	<p>持続可能な開発目標 SDGs Sustainable Development Goals 2016年–2030年</p>
<p>基本理念</p>	
<p>「2015年までに世界の貧困を半減させる」</p>	<p>「誰一人取り残さない」</p>
<p>策定プロセスとステークホルダー</p>	
<p>トップダウンアプローチ (国際機関、各国政府主導での採択。市民社会は策定プロセスに参加せず)</p>	<p>ボトムアップアプローチ (各国政府、国際機関、学術機関、市民社会、民間企業からの意見集約)</p>
<p>目標設定と求められるアプローチ方法</p>	
<p>8つの目標 途上国を中心とした課題設定 (貧困撲滅、初等教育の普及等)</p>	<p>17の目標 途上国／先進国を問わない課題設定 (MDGsの既存課題に加え、気候変動、産業革新など先進国側のテーマも追加)</p>
<p>フォアキャスト (Forecasting) 現在を起点として未来を予測する方法。短期的な未来を考える場合や、現状や過去のデータを分析したうえで方策を考えるときに用いる。現状の強みを活かした、実現性の高いアイデアを考え出す際に有効です。</p>	<p>バックキャスト (Backcasting) 未来を予測する際、目標となるような状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って何をすべきかを考える方法で、いわば未来からの発想法である。</p>
<p>資金需要と期待される資金源</p>	
<p>年間約400億ドル-600億ドル</p>	<p>年間約12兆ドル-15兆ドル</p>
<p>先進国／国際機関による資金援助</p>	<p>先進国／国際機関による資金援助 開発途上国自身による資金拠出 民間資金</p>



SDGs 5つの基本

(1) 普遍性 (2) 包摂性 (3) 参画型 (4) 統合性 (5) 透明性と説明責任

「普遍性」 他にも応用が効くという先進国を含め、全ての国が行動する

「包摂性」 社会のすべての人に配慮を払う、「誰一人取り残さない」

「参画型」 関係者を結集し多様な場所での活用や幅広い業界での導入、活躍という意味で全てのステークホルダー（政府、企業、NGO、有識者等）が役割を

「統合性」 経済・社会・環境の3要素を含める
経済・社会・環境は不可分であり、統合的に取り組む

「透明性と説明責任」 さらに製品・サービスを広く伝える努力をしている意味での
である。



SDGsに至る流れ

CSR→CSV→MDGs→SDGs→?DGs

CSR(Corporate Social Responsibility)

企業の社会的責任。企業が倫理的観点から事業活動を通じて、自主的（ボランティア）に社会に貢献する責任のことである。

CSV(Creating Shared Value)

企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決し、「社会価値」と「企業価値」を両立させる。「社会的問題・課題解決のビジネス化」



- 日本は、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の理念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献。SDGsの力強い担い手たる日本の姿を国際社会に示す。
- 『SDGsアクションプラン2020』では、改定されたSDGs実施指針の下、今後の10年を2030年の目標達成に向けた「行動の10年」とすべく、2020年に実施する政府の具体的な取組を盛り込んだ。
- 国内実施・国際協力の両面において、次の3本柱を中核とする「日本のSDGsモデル」の展開を加速化していく。

I. ビジネスとイノベーション ～SDGsと連動する「Society 5.0」の推進～

ビジネス

- ▶ 企業経営へのSDGsの取り込み及びESG投資を後押し。
- ▶ 「Connected Industries」の推進
- ▶ 中小企業のSDGs取組強化のための関係団体・地域、金融機関との連携を強化。

科学技術イノベーション(STI)

- ▶ STI for SDGsロードマップ策定と、各国のロードマップ策定支援。
- ▶ STI for SDGsプラットフォームの構築。
- ▶ 研究開発成果の社会実装化促進。
- ▶ バイオ戦略の推進による持続可能な循環型社会の実現(バイオエコノミー)。
- ▶ スマート農林水産業の推進。
- ▶ 「Society5.0」を支えるICT分野の研究開発、AI、ビッグデータの活用。

II. SDGsを原動力とした地方創生、 強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり

地方創生の推進

- ▶ SDGs未来都市、地方創生SDGs官民連携プラットフォームを通じた民間参画の促進、地方創生SDGs国際フォーラムを通じた普及展開
- ▶ 「地方創生SDGs金融」を通じた「自律的好循環」の形成に向け、SDGsに取り組む地域事業者等の登録・認証制度等を推進

強靱なまちづくり

- ▶ 防災・減災、国土強靱化の推進、エネルギーインフラ強化やグリーンインフラの推進
- ▶ 質の高いインフラの推進

循環共生型社会の構築

- ▶ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた持続可能性の配慮
- ▶ 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実現に向けた海洋プラスチックごみ対策の推進。
- ▶ 地域循環共生圏づくりの促進。
- ▶ 「パリ協定長期成長戦略」に基づく施策の実施。

III. SDGsの担い手としての 次世代・女性のエンパワーメント

次世代・女性のエンパワーメント

- ▶ 働き方改革の着実な実施
- ▶ あらゆる分野における女性の活躍推進
- ▶ ダイバーシティ・バリアフリーの推進
- ▶ 「次世代のSDGs推進プラットフォーム」の内外での活動を支援。

「人づくり」の中核としての保健、教育

- ▶ 東京オリンピック・パラリンピックを通じたスポーツSDGsの推進。
- ▶ 新学習指導要領を踏まえた持続可能な開発のための教育(ESD)の推進。
- ▶ ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)推進
- ▶ 東京栄養サミット2020の開催、食育の推進。

国際社会 への展開

2020年に開催される、京都コンGRES(4月)、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(7月～9月)、アジア・太平洋水サミット(10月)、東京栄養サミット2020(時期調整中)等の機会も活用し、国際社会に日本のSDGsの取組を共有・展開していく。



持続可能な開発目標

SDGs



実施資金源

ESG投資

他資金調達

実施手段

Society 5.0を中心とした投資先

分野横断的な基盤技術、商品・サービスの成長機会





問題点

- 多すぎる目標(17 Goalsと169 Targets)
- 理解が容易ではない。
- 先進国における関心が低い。
- 法的拘束力がない。
- 「誰ひとり取り残さない」が実行されていない



ESG 投資と SDGs の関係

社会的な課題解決が事業機会と投資機会を生む



(出所) 国連等より GPIF 作成

ESG投資とは?

E 環境 Environment

- CO₂排出量の削減
- 化学物質管理
- 生物多様性の保護
- エネルギー使用量の削減

S 社会 Social

- 人権問題への対応
- 地域社会との連携と貢献
- 労働者の権利への配慮
- 安全性への配慮

G 企業統治 Governance

- 企業コンプライアンスの強化
- 経営の透明性
- 社外取締役の設置
- 情報開示

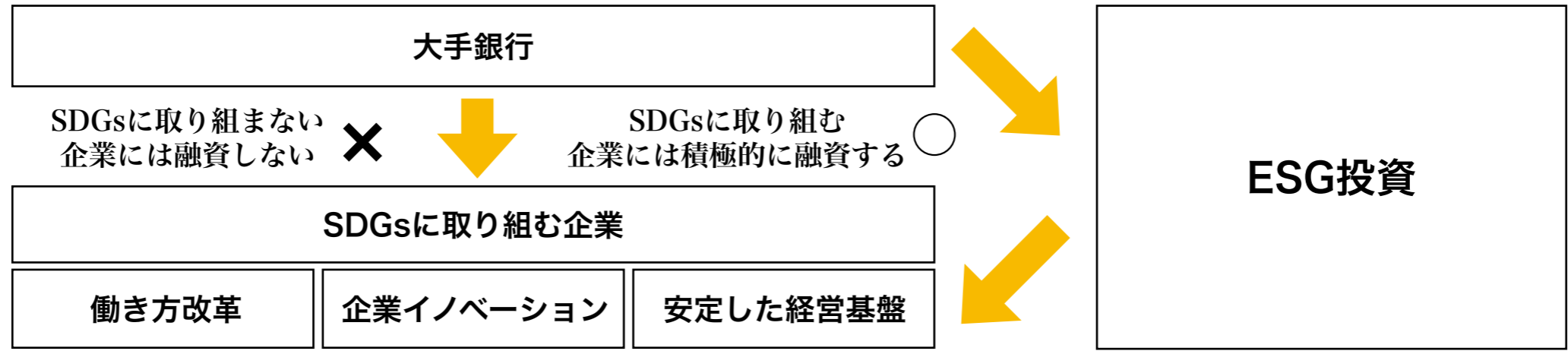
国内のESG投資額の推移
※日本サステナブル投資白書2017より

年	投資額 (億円)
2015年	26.7
2016年	56.3
2017年	136.6

But 石炭開採・化石燃料への融資および引き受けを提供する金融機関上位5社 (2013年1月から18年2月)

機関	石炭開採 (億円)	化石燃料 (億円)	合計 (億円)
みずほフィナンシャルグループ	236	2565	2801
三井住友フィナンシャルグループ	1189	3939	5128
三菱UFJフィナンシャルグループ	1363	3116	4479
野村ホールディングス	622	1000	1622
大和証券グループ本社	446	1000	1446
三井住友トラスト・ホールディングス	199	1000	1199

※環境NGO: 350.org Japanの報告書より
©ロッキン・大谷



環境

Environment

- 気候変動
- 資源枯渇
- 廃棄
- 汚染
- 砂漠化

環境に配慮した製品管理、
環境への配慮および活動、
汚染防止、Co2削減、
持続可能性資源の利用、
自然保護

ESG

社会

Society

- 人権
- 現代版の奴隷
- 児童労働
- 労働環境
- 従業員同士の
関係性

雇用労働条件、職場の安全性確保、
ハラスメント防止、人権への配慮、
差別排除、汚職防止、知的財産の尊重、
公正な競争マーケティング、
消費者からの苦情対応、持続可能な消費、
消費者の安全衛生の確保、
個人情報保護、
コミュニティへの参画、
教育文化活動、雇用創出

企業統治

企業統治

- 賄賂および汚職
- 役員報酬
- 取締役の多様性
- ロビイングおよび
政治献金
- 税金対策

法令遵守、コンプライアンス態
勢、内部統制、リスクマネジメン
ト、事業継続プラン、情報開示、
バリューチェーン/サプライチ
ェーン管理、グループ会社ガバ
ナンス、経営の透明性確保、外
部監査



守口市の再開発第二弾としてパナソニック施設とスマートタウンの共存シティ
PSST(Panasonic SDGs Smart Town)構想。大阪国際大学ドバイ校構想、淀川上空を空中自動車の
ロード計画

守口都市開発第二次計画

門真市



PSST都市計画
Panasonic SDGs Smart Town



淀川空中自動車ロード計画
淀川河川上空を道路とする

ESG投資
Society 5.0

大阪国際大学 国際SDGs学科ドバイ校構想





← SDGsマトリクス

↓ お寺の展開でのSDGsマトリクス





お寺のミ・ライ①

仏教の、僧侶の、新開地に挑み続けて10年

「フリースマイルを復活させよう」

お寺のミ・ライ①は、お寺の活性化を目的とした、お寺の僧侶が中心となって取り組む事業です。お寺のミ・ライ①は、お寺の僧侶が中心となって取り組む事業です。お寺のミ・ライ①は、お寺の僧侶が中心となって取り組む事業です。

お寺のミ・ライ②

地方のお寺再生へ 宮大工が動き出した!

「一宮大工が動き出した」

お寺のミ・ライ②は、地方のお寺再生を目的とした、宮大工が中心となって取り組む事業です。お寺のミ・ライ②は、地方のお寺再生を目的とした、宮大工が中心となって取り組む事業です。

お寺のミ・ライ③

宗派を超えた「繋がる力」が 『社会の分断』を救う「良薬」に

お寺のミ・ライ③は、宗派を超えた「繋がる力」が、『社会の分断』を救う「良薬」に。お寺のミ・ライ③は、宗派を超えた「繋がる力」が、『社会の分断』を救う「良薬」に。



テライは
お寺のテラ
地球のテラ
心の拠り所のサライ
を合わせた
お寺は、すべてのものの
心の拠り所

お寺に毎回4万部配布

「福生」だより

株式会社福生と(一社)国際SDG推進協会が連携してSDGに取り組んでいます

会員募集のお知らせ!

SDGで地域の活性化、健康、福祉、幸福づくり。お寺を中心としたSDGコミュニティづくりをしませんか。

「SDGs お坊さんの出番ですよ」倶楽部

お寺さんがSDG(エスディーゼー)を活用して、地域の活性化や地域の子供たち、高齢者等に対し「だれ一人取り残さないで、生きがいを福祉、健康等について取り組む」ために株式会社福生がお手伝いをさせていただきます。SDGはもともと日本古来から継承されてきた教えに近いと言われてます。例えば、小中学校で「SDG読法」なんていっていませんか。素晴らしいと思いませんか。今こそ「SDG お坊さんの出番ですよ!」です!!

SDGとはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で国連本部で日本を含む193か国加盟国の合意のもと採択された2015年までに世界を変革するための17の目標です。全世界が貧困や環境、平和、平等に取り組むというもので、

「SDGs お坊さんの出番ですよ」倶楽部 第一弾

「わくわく♪スマホ教室」 高齢者向けインスタや、LINE、PayPay等楽しいスマホ教室

スマホが使って、わくわく♪楽しく毎日。「LINE」「インスタ」「PayPay」...

高齢者向け「わくわく♪スマホ教室」開催場所提供の募集をしています。講師手配、資料等すべて「SDGs お坊さんの出番ですよ」倶楽部が手配いたします。

第一次対象地域
大阪府下 和歌山市
和歌山県北部



スマホは、現代社会の必需品。SDGsでは、誰一人取り残さない社会づくりを目的としています。高齢者がスマホ使いこなすことができれば、日々の暮らしが一変します。可愛いお孫さんとLINEでチャット!もちろん家族や友達とも顔を見ながら楽しい会話や情報交換。インスタグラムで写真投稿、無料映画、ゲームや健康管理、PayPayでお買い物等。お寺で、無料「わくわく♪スマホ講座」を開催。場所をご提供いただけるお寺を募集しています。

寺社活性化のための取り組み

お寺とコラボをして、子供食堂、養護施設支援、寺子屋
地域の活性化、義手・義足その他装具のサポート等



「福生」だより 株式会社福生と(一社)国際SDGs推進協会が連携してSDGsに取り組んでいます

SDGsアドバイザー認定講座を受けてみた!
SDGsが環境、社会、企業を一変。寺院が普及の役目を!
 SDGs17の目標は仏教の教えと結びつけると話しやすい。多くの僧侶、寺院関係者の方にオススメです!

講座を知ったきっかけ: 通販を利用させて頂いている株式会社福生のカタログに案内があったのを見て知りました。



氏名: 桑 康雄(まさかず こうしゅう) 桑
 所属: 姫路成山山春日部教会 心願寺 住職

講座を受けた感想: 基本的な知識として、SDGsとは、国連で採択された持続可能な開発のための17の目標ということくらいは知っていました。その上で私の理解としてはボランティアの延長くらいにしか感じていませんでした。しかし、講座を受けてみて大きな衝撃を受けました。それは私の理解などとも及ばない大きなインパクトのあるものだったからです。それは産業革命やインターネットの普及など人間にならないほどの大きな変革をもたらし、まさに世界を変えるような大きな取り組みだからです。世界中の国や大企業などは、すでにSDGsを基本に動き出しており、そこには莫大な投資や資金の流入が起こっているとのことでした。しかし、まだ一般の人々や中小企業などはそれらの知識すら持っていない方がほとんどではないかと感じました。そこで地域に根ざした寺院や僧侶がSDGsに取り組んだり、SDGsの普及に尽力したりすることの意義が大きいのではないかと考えました。そもそも「誰一人取り残さない」という理念からして仏教とはとても親和性が高いと思いましたし、17の目標も仏教の教えと結びつけてお話ししやすいのではないかと感じています。ぜひ一人でも多くの僧侶、寺院関係者の方に受けていただきたいと思う講座でした。今回はたいへんありがとうございました。

「SDGs お坊さんの出番ですよ」倶楽部 特別キャンペーン お坊さん向けSDGsアドバイザー講座開催

SDGsを活用した地域活性化や子ども達へのSDGs教育、高齢者サポート等。また、SDGsは経済基盤づくりが重視されていることもあり、お寺の経営イノベーションの取組もサポートもしてまいります。

一般社団法人 国際SDGs推進協会が実施中の「SDGsアドバイザー認定」を特別価格で受講していただけます。講座は全8回ZOOMで開催(SDGs講座7回+お坊さんSDGs取組講座1回)SDGsアドバイザー認定書贈呈
 受講条件①「SDGsお坊さんの出番ですよ」会員登録(無料)②ZOOMの環境(Webカメラ付PC、タブレット等)

好評により特別キャンペーン価格 6月末まで延長

受講料 25,000円(税別) → 特別キャンペーン価格 15,000円(税別)

国際SDGs推進協会 [mail info_sdg2019.jp@n@gmail.com](mailto:info_sdg2019.jp@n@gmail.com) [HP: http://ispa-japan.com](http://ispa-japan.com) お申し込みと詳細は右のQRコードで

会員募集のお知らせ! SDGsで地域の活性化、健康、福祉、幸福づくり。お寺を中心としたSDGsコミュニティづくりをしませんか? 「SDGs お坊さんの出番ですよ」倶楽部

お坊さんがSDGs(エスディージーズ)を活用して、地域の活性化や地域の子供たち、高齢者等に対し「だれ一人取り残さないで、生きがいや福祉、健康等について取り組む」ために株式会社福生がお手伝いをさせていただきます。SDGsにもともと日本古来から継承されてきた教えに近いと言われていたり、素晴らしいと思いませんか。今こそ「SDGsお坊さんの出番ですよ」です!!



「SDGs お坊さんの出番ですよ」倶楽部は、お坊さんであればどなたでもご入会いただけます。ご入会は、右記QRコードまたはメールで受付中。
 mail: sdsotera@gmail.com



お寺関連の最新情報ニュース

テライ5

お寺のSDGs情報掲載
 発行年月 2021年3月15日号
 発行 株式会社福生
 TEL: 0120-29-0068
 発行責任者 辻本 武文
 発行部数 40,000部
 協賛 (一社)国際SDGs推進協会
 編集 辻本 武文
 デザイン 辻本 武文



情報誌「テライ」のネーミング(テラ(地球・お寺)、ライ(家・後継者や若者の橋))の概念化、寺院運営や普及活動に役立つ情報をお届けします。

お寺のミライ5「お寺の窓口」の運営会社「株式会社AVENIL」代表取締役 遠島光顕

「お寺の窓口」が寺運営と未来を照らす情報基地に

命号の巻頭ページを飾るのは、お寺への訪問客を増やすポータルサイト「お寺の窓口」を運営する「株式会社AVENIL」代表取締役の遠島光顕氏。月の半分は副住職として寺の仕事をつとめ、月の半分は起業家として活躍する遠島さんに、「お寺の窓口」が果たす役割、お寺のミライについて伺いました。

遠島氏が、寺院のIT化の進行の遅れを感じ、寺院向けWEBサービスなどを手掛ける「お寺の窓口」を設立したのは2016年12月。運営する株式会社AVENILでは代表取締役を務め、副住職の職務も兼任しながら、多忙な毎日を送っています。今やマスコミや企業からも注目の「お寺の窓口」ですが、設立のきっかけは意外な出来事でした。「私は寺の次男坊なので、大阪の大学に通いながら、学生起業家に憧れさまざまな事業にトライ、そんな時に母から“あなたにはお坊さんの道もある”と勧められて大谷大学へ。学びが深まることさまざまな問題が見えてきました。そんなある日、「お寺×indeed」の夢を見ました。私の前職は求人検索サイトの会社「indeed」の日本進出時の初期代理店としてindeed担当だった経験もあり、すぐにウェブポータルサイトのノウハウを持つ制作会社の社長にお寺検索サイトの企画書を持ち込みました」と起業のきっかけをこう明かす遠島氏。

設立から1年が経過、現在、ウェブポータルサイトへの登録数は口コミ、紹介等により約200か寺に。「目標は全国の寺数の1%の770か寺。これを5年以内に考えています。お寺離れといわれながらも、人が集まるための努力、情報発信ができていない寺院はまだまだ少ない。ぜひ活用していただきたいですね。」
 「お寺の窓口」には無料の「Freeプラン(※条件あり)」もあり、地域・宗派を問わず登録が可能。「月々6千円、1万2千円の有料プランもありますが、Freeプランなら、掲載料、運営費用など費用負担は一切必要ありません。登録方法は、お寺とご住職の情報を入力すれば登録完了です。」

お布施以外から収益が得られる仕組みづくりを

「お寺の窓口」では、Webサービス以外にも新規事業を次々と企画。2019年2月より寺院や檀信徒向けの法律問題解決サイト「専門家の窓口」をオープン。新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、オンラインでお寺のお坊さんと相談ができる、個人及び法人向け「お寺で相談の窓口」もスタートしました。「相談によってくださるのは、現代仏教界で精力的に活躍する僧侶の皆さんです。このほかにもお寺の施設活用やアドバイス(お寺で塾運営など)やマーケティング、節減量を増やし寿命を延ばすトレーニング「ボイスサイズ」もお寺で開催する企画などにも取り組んでいます。これは「お寺がお布施以外から収益が得られる仕組みづくり」の発想から生まれたサービス。「お坊さんの中には危機感を口にしない方も、どう向き合えばいいのかかわからず不安を抱えているご住職も多いと思います。お寺の窓口では地域とお寺を繋ぎつなぐプロデュースもしていますので、ご遠慮なくご相談ください。」
 最後に遠島氏から見た「お寺のミライ」について伺いました。「危機感は持っています。檀信徒離れ、収入面の確保だけでなく、お寺という日本の歴史と文化を遺していく。それとても重要なことです。お寺ごとに必ず故事実話があり“宝”があります。その歴史が伝わる危機感をもっていないといけない、それらの情報を発信することで、多くの人に認識していただき、寺に足を運んでもらうきっかけにも繋がります。そのためにもぜひ「お寺の窓口」を活用していただければと思います。」



プロフィール
 遠島 光顕 (としま みつあき)
 1980年生まれ。約150年続く、真宗大谷派「教順寺」(札幌市)副住職。2013年真宗大谷派教僧資格取得。2013年4月教順寺副住職就任。その後、企業経営を習み、27歳の時に「お寺の窓口」を運営する株式会社AVENILを設立。代表取締役となる。

「お寺の窓口」ホームページ
<https://otstetuvi>





SDGs 観光資源保護と関連事業の取り組み



SDGsと観光業

SDGsで観光資源の保護や関連するSDGsの取り組みで持続可能な素晴らしい観光環境づくり

2016年の世界の旅行者数は約12億人に達し、観光業は世界のGDPの約10%、10人に1人の雇用、7%の貿易取引に寄与していると、国連世界観光機関（UNWTO）で発表されています。所得のボトムアップ、交通の利便性と低価格化もあいまって、今後さらに需要が見込まれます。

しかし、その一方では観光業が、気候変動やテロをはじめとする紛争、ゴミ等による自然破壊等による遺跡、自然等の観光資源がダメージを受けています。日本でも気象変動による台風の大型化で、街、交通網、魚介、畜産、農産物等に大きな被害をもたらし、旅館、ホテル、旅行者には大きな痛手となっています。

国内外を問わず、観光資源の保護やSDGsの目標でもある紛争や差別、食糧危機をなくす取組は、持続可能な観光につながることはもちろん、多くの人々を幸せにする取組となります。

「SDGs 観光資源と観光」コミュニティ実行委員会設立

「SDGs 観光資源と観光」コミュニティ実行委員会

株式会社トラベルニュース社 + 国際SDGs推進協会

国際SDGs推進協会とトラベルニュース社とが連動してSDGsの推進事業に取り組みます。

旅館・ホテル

料理の品数、アメニティの見直し、電気・ガス等の節約、経営の効率化、イノベーション、観光資源の保護、SDGsの活動（海岸線ゴミ拾い等）への取り組み。

旅行者

SDGs導入の旅館・ホテルの推奨と利用。観光資源の保護活動への積極的な参加。SDGsツアーの企画、経営の効率化、イノベーション。

観光客・観光地・交通機関等

SDGsを観光客・観光地・交通機関等にも普及させることで、環境に優しく、無駄をなくした快適な観光の推進、あわせて観光地の活性化や環境に配慮した効率的な交通機関の取り組み等。

SDGsによる観光業の活性化



「SDGs 観光資源と観光」
コミュニティ実行委員会



「世界一の食文化都市・大阪」構想

私たちの取り組み「世界一の食文化都市・大阪」構想は「SDGs」に直結している。

「世界一の食文化都市・大阪」構想自体が「SDGs」の取り組みになっている。
食の充足、食の安全安心、医食同源、食の無駄や平等、世界が理想とする食文化形成が私たちの目的です。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





「世界一の食文化都市・大阪」5つのコンセプト



①食の充足

自給率100%以上を目指す。災害や国際情勢等の問題が生じても食料に困ることないように大阪を始め国内の食料の生産能力を高める。大阪が地方に対して各方面から支援する。



②食の安全

TPPなど諸外国からの食料輸入や各種食品の安全基準の明確化とチェック体制を確立し、食の安心、安全を図る。



③医食同源

食の改善によりアトピーやアレルギーをはじめ諸病の予防・治癒を図るとともに、介護を減らし子供達には健全な体と心を養う。



④食の研究・開発・ビジネス展開

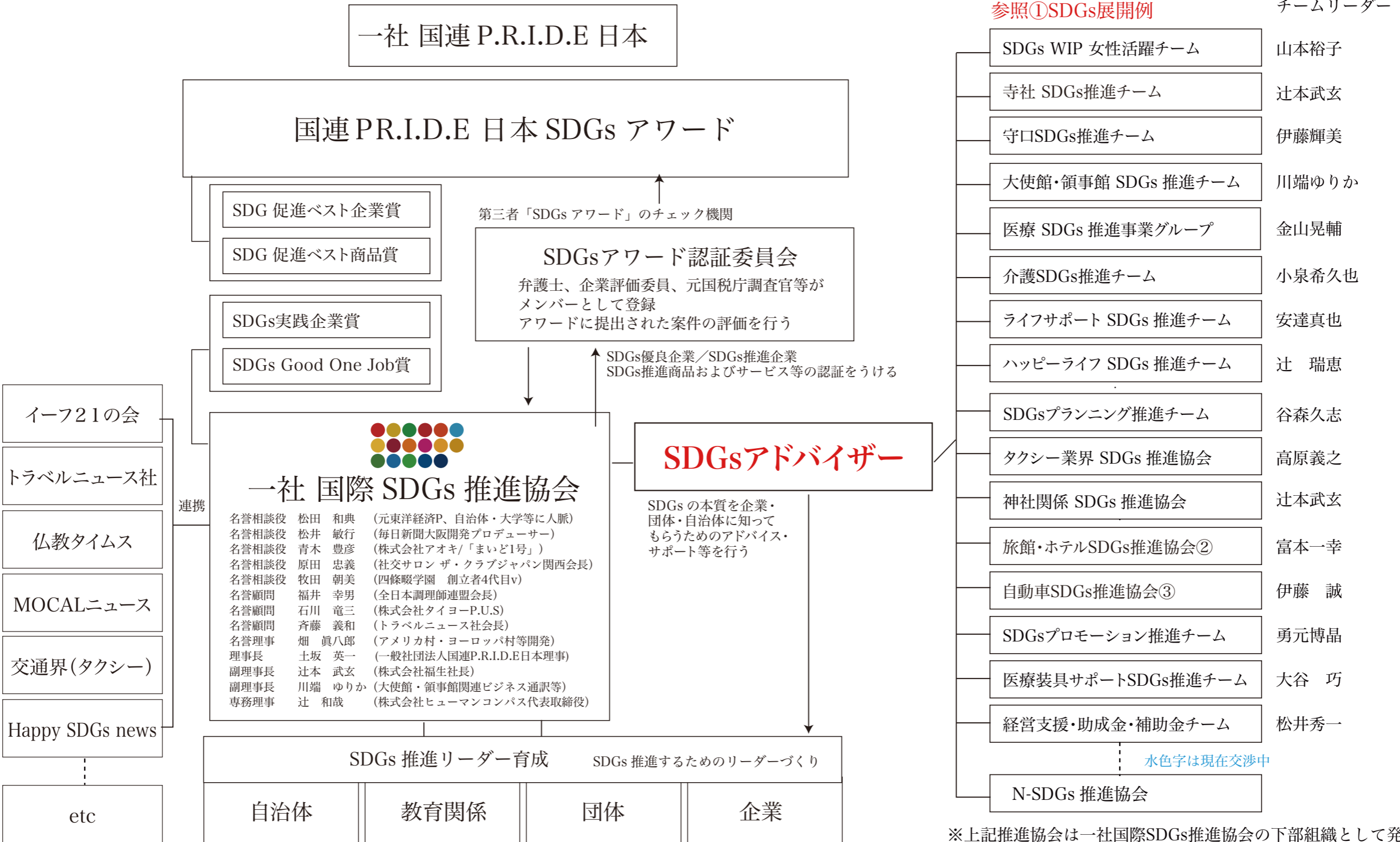
農業の工業化、食材の効果的な生産方法の研究から食の加工、食の加工機械、物流、IT、その他、食に関する研究・開発とともにビジネス化を図る。



⑤食の貢献

「世界一の食文化都市・大阪」として培った食に関するノウハウ（食物の生産方法、加工、保存、料理、その他）を世界に提供し貢献する。





※上記推進協会は一社国際SDGs推進協会の下部組織として発足その後独立可 (ただし一社国際SDGs推進協会グループとして)



地方創生の目標

人口減少と地域経済縮小の克服 / まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域の活性化が実現

相乗効果:政策推進の全体最適化・地域課題解決の加速化

「経済」、「社会」、「環境」の三側面を統合する施策推進



自治体SDGsの推進

- ◆地域課題の見える化
- ◆体制づくり
 - ✓自治体内部の執行体制の整備
 - ✓ステークホルダーとの更なる連携
- ◆自治体の各種計画の策定・改定
 - ✓計画にSDGsの要素を反映し、進捗を管理するガバナンス手法を確立
- ◆課題に応じた地域間の広域連携

地方創生成功モデルの国内における水平展開・国外への情報発信



持続可能な地域社会の実現に向けて SDGs未来都市しもかわ

2018.11.14

北海道下川町政策推進課 / S D G s 推進戦略室

藁島 豪



北海道下川町の概要

人口：3,383人(H28.4.1)
 高齢者：1,440人(39.6%)
 面積：644.2km²(東京23区同等)
森林：569.8km²(総面積の88%)
 気候：夏+30°C以上、冬△30°C以下

キーワード⇒森林資源を余すことなく使う



住民の80%が中心市街地に居住



下川町
 FutureCity Shimokawa

東京→旭川空港 1時間40分
 旭川空港→下川町 2時間

1位	下川町 (2014)	6個
2位	野沢温泉村 (2014)	4個
2位	余市町 (2014)	4個
4位	札幌, 各4回ほか	3回

LIVE#

「葛西の地元。スキージャンプは日常生活？」

冬期五輪市町村別メダル獲得「日本一」



日本で最も寒い地域 (-32°Cの日の朝)




アイスクャンドル



ピョンチャン五輪代表3人



 **持続可能な地域社会の実現に向けて**

- ☆'01年～「**経済・社会・環境の調和による持続可能な地域づくり**」がスタート
- ☆'07年～**下川町自治基本条例**に「**持続可能な地域社会の実現を目指す**」ことを位置付け
- ☆'08年～**環境モデル都市**（経済×環境）
- ☆'11年～**環境未来都市**（経済×環境×社会）※横浜市・北九州市・富山市・柏市・下川町など

【コンセプト】
 経済・社会・環境の3側面の価値創造
 統合的解決に**約20年間**取組み





森林未来都市モデル（経済×社会×環境）





「環境未来都市」から「SDGs未来都市」へ

環境モデル都市・環境未来都市

1. これまで（～2016年）

- 人口減少が緩和、近年は人口転入超過の年も
- 再エネによる地域熱自給率が49%
- 個人住民税+16.1%（'09年とH'16年比）
- ⇒持続可能な地域社会の「芽」が発現
- 一方、現在の地域経済社会構造では持続が困難
- ⇒人口減・少子高齢化・空家大発生（将来課題）

SDGs未来都市

2. これから（2016年～）

- SDGsをまちづくりに取り入れレベルアップ
- ☑親和性（コンセプト）
→経済・社会・環境の統合的解決
- ☑優位性伸長・課題解決（ゴール）
→森林保全・エネルギー、気候変動対策など
- ☑広い世界（人と人をつなぐSDGs）
→異なる背景を持つ人々を結びつける

取組みと成果

2017年ジャパンSDGsアワード
内閣総理大臣賞受賞（'17.12.26）



SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞

北海道下川町

SDGs推進副本部長 （内閣官房長官）賞

- ・NPO法人しんせい
- ・パルシステム生活協同連合会
- ・金沢工業大学

SDGs推進副本部長 （外務大臣）賞

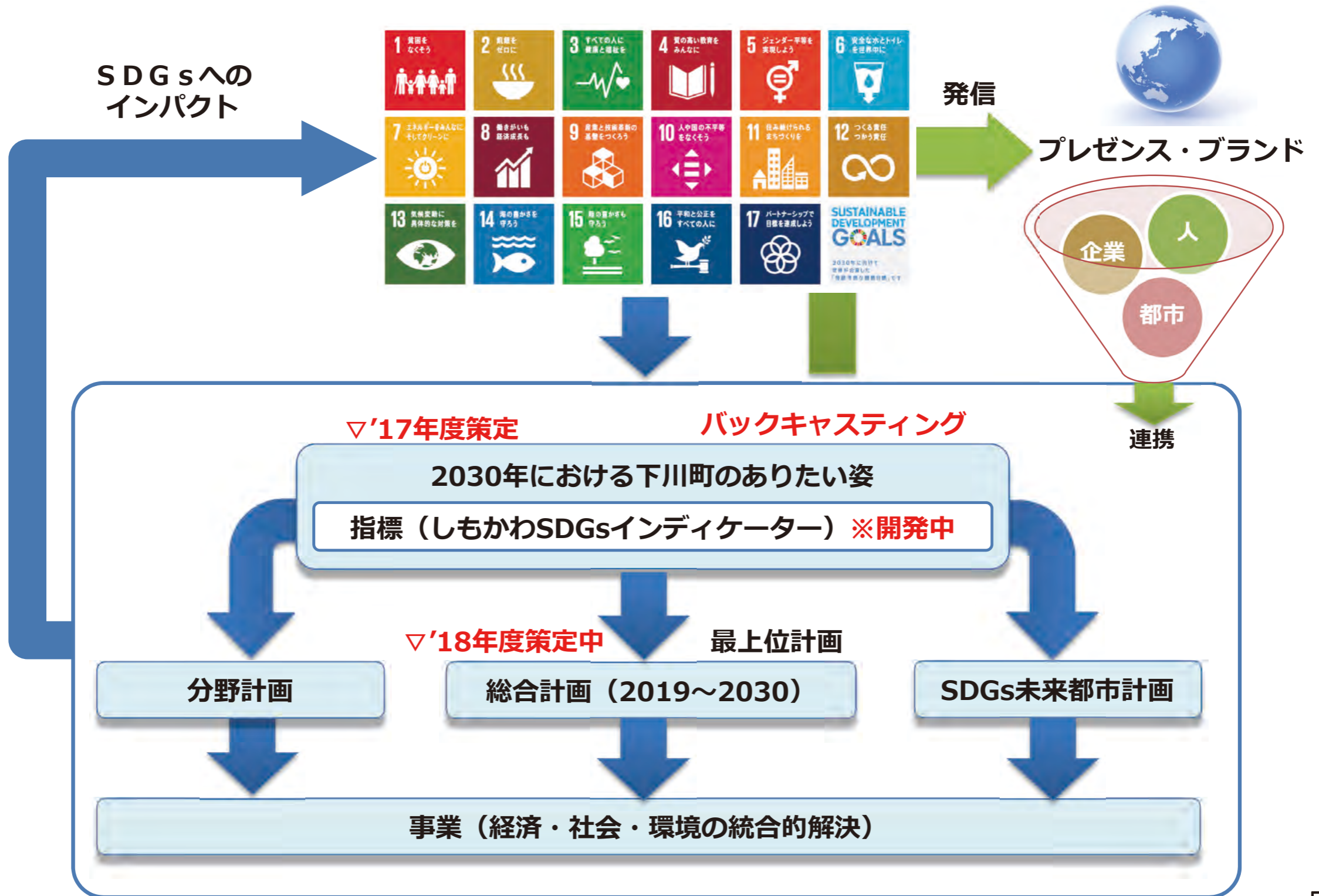
- ・サラヤ株式会社
- ・住友化学株式会社

SDGsパートナーシップ賞（特別賞）

- ・吉本興業株式会社
- ・株式会社伊藤園
- ・江東区立八名川小学校
- ・国立大学法人岡山大学
- ・公益財団法人ジョイセフ
- ・福岡県北九州市



SDGsを取り入れたまちづくり（政策体系）





2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs） 2018.4.23





実現のための”打ち手”～自治体SDGsモデル事業～

政府からSDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定（'18.6.15）



経済

- 林業の川上～川下のシームレス産業化
- 農産物の地域循環型流通
- 地域内経済循環を促すポイントシステム導入
- 多様な人材登用、生産効率向上に向けた先端技術導入実証



社会

- 居住環境計画、健康省エネ住宅の推進
- 医療介護福祉連携強化、子育て支援
- 除雪システム高効率化、レジリエンス強化
- 未来人材育成、町民参加推進



環境

- 森林バイオマス利用拡大
- 一の橋バイオビレッジ脱炭素コミュニティ
- 省エネ家電レンタルシステム構築
- ゼロエミッションとエシカル消費促進

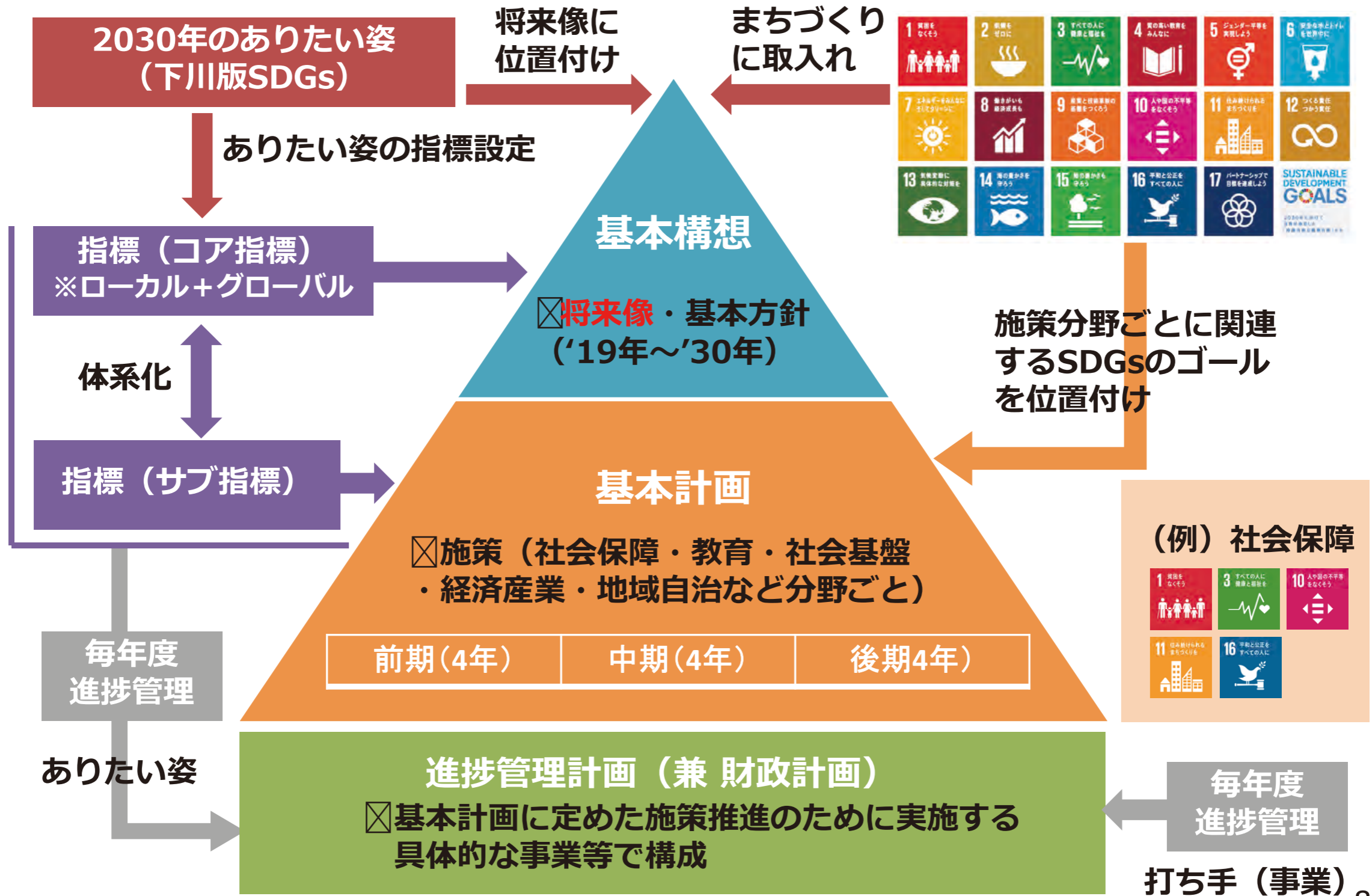
実施支援

SDGsパートナーシップセンター（SDGs-PCC）拠点構築
 様々な地域課題を吸い上げ、町内外の企業や団体等との連携により社会課題を解決し自治体SDGsモデルを国内外へ展開（協創と展開の拠点）

都市企業とのパートナーシップに基づく地域の多様な人材登用による集落産業価値向上事業
 【経済】新たな菓子製造販売×【社会】女性、高齢者、障がい者登用×【環境】森林バイオマス機器等利用



次期下川町総合計画の構成（策定中）※現時点





“2030年のありたい姿”の“見える化” ※イメージ

■達成度を測定するための尺度となる指標（モノサシ）を開発し設定（2018年度開発）



<2030年のありたい姿指標 (例)>

目標2 誰ひとり取り残されないまち

- 2-1 自分の好きなことや生きがいがある人の割合 **59.8%**
- 2-2 仕事にやりがいがあると感じている人の割合 **49.5%**

<ポイント>
両面から検証

<ポイント>
下川町の“健康状態”

目標3 人も資源もお金も循環・持続するまち

- 3-1 域内生産額 **215億円** 3-2 域際収支 **△52億円**
- 3-3 食料実質自給率 **10.1%**

目標6 世界から目標とされるまち (脱炭素社会・SDGsへ奇与)

- 6-1 再エネ熱エネルギー自給率 **49%**
- 6-2 再エネ電力エネルギー自給率 **4%**





パートナーシップ（地域ステークホルダー）



SDGs未来都市部会



■「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」の策定

- ☑ 下川町総合計画審議会にSDGs未来都市部会を新設
- ☑ 民間委員10人（会社経営者・NPO法人代表、農業者、主婦、教員、商工会青年部長など）+ 行政中堅職員10人（30歳～40歳代）
ファシリテーター 幸せ経済社会研究所 枝廣淳子氏
レポーティング・指標設計 地球環境戦略研究機関（IGES）
- ☑ '17年9月～'18年4月（計13回）
- ☑ '18年9月～ 指標と進捗管理システムを検討中

■SDGsを取り入れ下川町のありたい姿を描く

- ☑ 「誰一人取り残さない」への“コダワリ”
→ 「誰も」でもいいのでは⇒ 「誰一人」でなければダメ
- ☑ 「G5ジェンダー」から住民主体の女性活動へ展開
→ 女性が活躍できる地域でなければ、子どもを産み育てられず、結局地域が消滅する。⇒ 女性委員が中心となり住民活動に展開
- ☑ 「G14海洋保全」海は無いけど関係有り
→ 下川町に海は無いが、流域上流地域で、サクラマスなど魚の産卵地があり、産卵や遡上環境を守ることが海洋保全につながるのではないかと。



パートナーシップ（地域内）



<ありたい姿の実現を考える住民有志の会>

☑住民主体でありたい姿の実現を考える



<未来の下川町を考えるワークショップ>

☑子供から大人まで



<最近の動向>

- 下川りくらしネット（女性）
 - ☑子育て環境、支え合いの社会など
- しもかわSDGsマップ作成中
 - ☑下川町内の取組みとSDGsを関連付けしたマップ
- ありたい姿のモノサシ（指標）を考える住民有志の会
- 下川町議会
 - ☑勉強会、一般質問





パートナーシップ（企業・団体）



<三井不動産（株）>

持続可能な地域社会創造に係る包括連携協定（2017.7.29）



<吉本興業（株）>

SDGs推進における連携協定（2018.7.2）



<（株）ベルシステム24・久遠チョコレート>

SDGs推進と持続可能な地域づくり
に関する連携協定（2018.7.31）



<地球環境戦略研究機関（IGES）>

SDGs推進等に係る協力協定
@環境事務次官室（2018.1.26）





パートナーシップ（企業・団体との連携マッチング）



下川町と2030年を描くSDGsアカデミックツアー（日経BP社とのコラボ企画） 2018.9.28-29

- 「SDGs経営と地域連携の未来イノベーション」 ←SDGsをどうビジネスに取り入れるか
講師 (株) クレアン代表 園田綾子氏
- 「SDGsで資金を呼び込む～地域とESG投資のこれから」 ←ESG投資をどう呼び込むか
講師 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (株) チーフ環境・社会ストラテジスト 吉高まり氏
- 下川町のSDGsフィールドツアー ←地域を知る（優位性や課題※日本の将来課題）
- 下川町の社会課題を題材に企業の技術やノウハウで解決策を練るWS ←企業と地方自治体の連携可能性

<主な参加者>



- ☑三井住友信託銀行 (株)
- ☑三井不動産 (株)
- ☑三井金属 (株)
- ☑ (株) 竹中工務店
- ☑住友化学 (株)
- ☑富士フィルムホールディングス (株)
- ☑味の素 (株)
- ☑ナイス (株)
- ☑ (株) エイチ・アイ・エス
- ☑パナソニック (株)
- ☑ (株) セブン&アイ・ホールディングス
- ☑ (株) ドリームデザイン
- ☑CIジャパン
- など



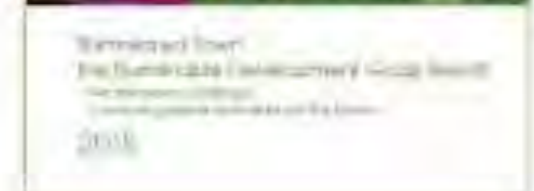
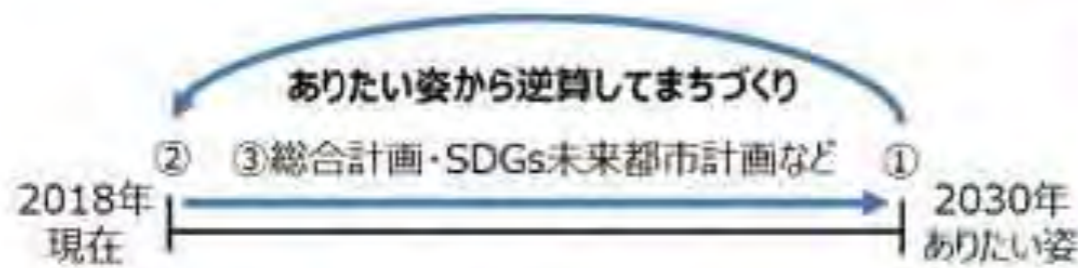
私たちのまち（下川町）にとってのSDGs

SDGsをまちづくり・地域活性化の“ツール”として活用

→「持続可能な地域社会を実現」し国内外へ波及展開→SDGs達成へ寄与

今時点で言えること（メリット）

- ①17の目標から地域を見つめ直すことによる新たな課題の発見や気づき（**チェックリスト**）
- ②未来（ありたい姿）から現在を見て、その実現のための手を考え打っていく良質なまちづくり（**バックキャスト**）
- ③様々な人々との連携による新たなまちづくりのしくみづくり（**人と人をつなぐSDGs**）
- ④下川町のビジョンや取組みをSDGsの枠組みを使い国内外へ発信、ブランド・プレゼンスを高め、移住者・関係人口、企業、投資の呼び込みや連携（**地域活性化**）





国連経済及び社会理事会－特別諮問地位－

太平洋地域発展及び教育組織

一般社団法人 国連 P.R.I.D.E 日本

TopPage

P.R.I.D.E概要

組織紹介

基金案内

お問合せ



国連P.R.I.D.E 日本とは



◆P.R.I.D.Eとは組織名の「太平洋地域発展及び教育組織」を英語表記した「Pacific Rim Institute for Development & Education」の頭文字をとった名称です。

1990年、非営利（政府）組織として、アメリカカリフォルニア州で認定（米国国税局コード501（C）3）され、1999年、国連経済社会理事会の特別諮問機関として位置づけられました。

P.R.I.D.Eはロサンゼルスを拠点に国際教育事業やアジアと西洋文化の融合・交流に携わっている他、2013年、アジア太平洋地区本部（P.R.I.D.E-asia）が中国上海市に、2014年に日本オフィスが創設されアジア諸国とASEANを中心に国際貢献事業や人道支援事業に取り組んでいます。

- 国連本部よりの資格書（日本語・English）
- P.R.I.D.E本部よりの任命書（日本語・English）



国連P.R.I.D.E日本アワード 第一回SDGs推進ベスト企業賞

2020年2月5日

淀屋橋ラブセントラルにて授賞式

- ①会社トラベルニュース社
旅行業社、旅館、ホテルに情報誌を配布
旅行業界にSDGsを普及させる（旅館ホテル向けSDGs検定実施）
- ②株式会社福生
福助足袋の一族で全国の寺社仏閣に通販で足袋・着物・備品関係
全国の寺社仏閣活性化のための取り組み（情報誌テライ4万部発行／SDGsお坊さんの出番ですよ等展開）



国連P.R.I.D.E日本アワード 第二回SDGs推進ベスト企業賞

2020年8月15日

淀屋橋ラブセントラルにて授賞式

- ①株式会社タイヨーP.U.S / 自社SDGs 取組、マンション管理業界、商工会議所へ推進
- ②OIT（オーアイティ） / 中古車販売から新車レンタルによる高齢者事故防止の取組
- ③株式会社 安信 / 技術革新による中小企業向け経営支援システム構築
- ④一般社団法人日本スポーツ連盟 / 医療用インソールサンダルの開発

順不同





農業を中心に食育推進活動／SDGsを社会貢献に



名誉会長
大桃美代子

タレントとして、ニュースをはじめ、料理、クイズ、バラエティ、情報番組と、幅広い分野で活躍。「阪神・淡路大震災」大阪滞在中に、「中越地震」を新潟県魚沼市の実家に帰省中に被災し、災害と復興について考えるきっかけに。風化させないことをテーマに情報発信や、復興の為に地域活性化にも携わる。雑穀エキスパート、ジュニア・野菜ソムリエ、おさかなマイスター・アドバイザーの資格を取得するなど食育や農業に関心が高く、地元の新潟にて古代米作りもする。「桃米」として販売中。地域活性化に取り組む団体を支援するため全国地方新聞と共同通信が設けた「地域再生大賞」選考委員を務め、各地の取組みを視察。様々な地域での取組みを紹介する講演が好評を得ている。そのほか「リアル桃太郎電鉄」、「熊本ワイチャ会議」…など、地域活性化イベントも各地で行ってきた

GAFAsの草分け／Society5.0の推進活動



スーパーバイザー
高木利弘

1955年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。『Captain Pedia』『MACワールド日本版』『MACLIFE』など、コンピュータ関連雑誌の編集長を歴任。株式会社カシスで企画・開発したナレッジプロセッサKacis Publisher／Kacis Writerは、「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2001」（SOFTIC）を受賞する。近著は、『The History of Jobs & Apple』（晋遊舎）、『ジョブズ伝説』（三五館）、『iPhone・iPadヒットアプリ調査報告書2012』（インプレスR&D）など。株式会社クリエイション代表取締役。

「まいど1号」下町ロケットのモデル／東大阪を世界一に



名誉相談役
青木豊彦

中小企業が当初、約8000社集まるモノづくりの町、東大阪で「メイド・イン・東大阪」の人工衛星を打ち上げようと、計画をスタートさせた中心者。2002年7月に設立された「東大阪宇宙関連開発研究会」(東大阪商工会議所)会長。12月には、研究会メンバーのうち5社と共に「東大阪宇宙開発協同組合」を設立、理事長に就任。

小学校の時に目にしたロケット打上げのニュース映画や、大阪万博で見た「月の石」を通して出会った“航空宇宙”を我が町の活性化のテコとする。もともとチャレンジ精神旺盛で、農業用機械の部品製造が主だった父の会社で新分野開拓に努め、ロボット部品や航空機部品への進出を果たした。「モノづくりにはプライドを持たなければならない」との思いは、同社を世界的航空機メーカーであるボーイング社の認定工場に押し上げた。航空宇宙産業を東大阪の地場産業にしたいというのが夢。「若者がモノづくりに魅力を感じて集まってくる大阪を、世界の楽市・楽座にしたい」と期待する。

料理の鉄人／リサイクル料理／300以上の社会貢献事業



名誉顧問
福井幸男

全日本調理師連盟会長
・料亭大和屋（関西）：修行
・料理研究会大和会初代会長
・日本観光調理師連合会：元会長
・東京農大：非常勤講師2002年～2003年
・辻学園調理師専門学校：元講師
・奈良調理製菓専門学校：元日本料理教授
2015年3月退任
・大阪市環境事業局NPO法人ごみゼロネット大阪元理事
1997年～1999年・食からの環境保全イーフ21の会：会長テレビ、ラジオ。新聞等多数出演



SDGs活動を通じて、SDGsの起源でもある「子どもたちに地球を残す」ことを第一の目的として活動しています。地球温暖化問題やプラスチックごみ、貧困、差別、その他諸問題もSDGsの推進によってみなで力を合わせ解決していきます。